

小児科研修プログラム

I. 研修について

小児科は、出生時より小児・思春期を経て成人に至るまでの成長を見守り、未来を担う子供たちの体と心を育み全人的・総合的に医療を行う診療科である。

研修医は、小児科医として日常遭遇する小児疾患について適切に対応するために必要な知識・技能・態度を習得する。具体的には、担当医として入院患者の診察にあたる。病歴の聴取・診察・診断・治療法の決定・治療を行い、診療録にその内容を記載する。すべての行為は、指導医の指導のもとで行う。

また、必修研修としてローテーションする場合、外来研修を週3日(月・火・木曜の午前)行う。

II. 研修の到達目標

小児科医の使命は成長過程にある小児の心身の健康上の問題点を個人・家庭・社会の問題として把握し解決することにある。本プログラムは小児科領域の知識を基に、プライマリケアを行うことができる医師の養成を目指す。医師は小児の人格と人権を尊重しなければならない。

1. 信頼に基づく良好な医師・患者関係を作ることができる。
2. 問題を正しく把握し診断したうえで、患者とその家族に適切な指導と教育ができる。
3. 他の医療関係者と協力してチーム医療を進めることができる。
4. 正しいカルテの記載ができる

III. 診療科情報(医師数・学会認定医・専門医・指導医)

当院HP診療科ページをご参照ください

IV. 施設認定

当院HP病院概要ページをご参照ください

V. 臨床研修指導医講習修了者数

3名

VI. 1週間の研修例

	月	火	水	木	金
午前	外来診療(必修時) 担当患者診察	外来診療(必修時) 担当患者診察	担当患者診察	外来診療(必修時) 担当患者診察	担当患者診察
午後	担当患者診察 病棟カンファレンス	担当患者診察	抄読会	担当患者診察 心エコー(2週に1回)	乳児健診 病棟カンファレンス
その他	放射線科とカンファレンス(2週に1回)		血液カンファレンス (TV会議、2週に1回)	産婦人科とカンファレンス	